



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：雨森 正記
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP primary-care.or.jp/primarycare-kinki/

ニュースレター No.25 (2019.3)

第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会のお知らせ

第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会会長 雨森正記



来たる5月17-19日に京都国際会館において、第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会を開催いたします。10年前に3学会が合併してから近畿地方での開催は初めてになります。ご存知のように今回はWONCA APRと共催されることになっています。

テーマは「**これまでの10年これからの100年**」ということでこれまでの日本のプライマリ・ケアの歴史と学会の歩んできた道、そしてこれからの我が国のプライマリ・ケアについて皆様と議論していきたいと考えています。

一人でも多くの方にご参加いただきたいと思います。京都でお目にかかれるのをお待ちしております。

第10回学術大会HP：<http://www.c-linkage.co.jp/jpca2019/index.html>

【報告】第32回 日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会 2018.12.2

関 透 (関 医院/京都市)



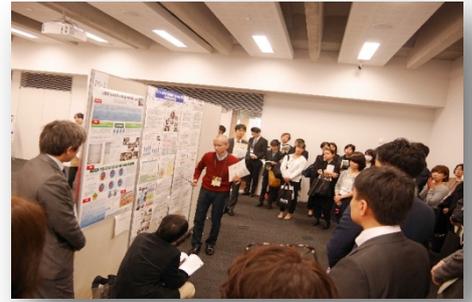
2018年12月2日(日)、京都市植物園に隣接する歴彩館・稲盛記念会館において、京都府立医科大学 山脇 正永 大会長のもと、第32回日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会 テーマ「皆で織りなすプライマリ・ケア: Learn, Serve, Lead」を開催しました。

プライマリ・ケアとは「身近にあってなんでも相談にのってくれる総合的な医療」(日本プライマリ・ケア連合学会ホームページより)とされています。そして、多職種・多機関、そして、公助のみならず、地域を中心とした自助を含めた様々な人やグループが専門性を生かしながらも、垣根をこえ織りなしながらケアを届けることが必要です。そ

して、その結果として、ひとりひとりに適した地域包括ケアの実現に至ると考えます。今回、この基本に再度立ち返り、京都での大会を開催したいと上記のテーマを名付けました。

当日は、天気に恵まれ約750名(市民公開講座を含む)の参加をいただくことができました。京都では地方会

開催の担当になると、各地区医師会が順次大会運営の役割を担います。今回は、京都北医師会・上京東部医師会・京都市西陣医師会の三地区医師会、そして、また同地区の歯科医師会、薬剤師会、介護支援専門員会、栄養士会、北区・上京区在宅医療・介護連携支援センターなど多職種の団体にも実行委員に就任していただき、それぞれの職種の視点や課題を織りなしプログラムを検討いたしました。また、当日は、約 70 名の大会のテーマに賛同いただいた多職種のボランティアのご協力をおかりすることができました。



大会では、特別講

演 2040～2060「異次元高齢社会」いよいよ出番、世界最先端医学を担う医療の主役「プライマリ・ケア医」に期待する（演者一般社団法人 未来医療研究機構 代表理事 長谷川 俊彦 氏）をはじめとし、大会にテーマに沿い、認知症、救急、ACP、薬剤、栄養、緩和、口頭・ポスター発表の場などを準備しました。

また、同時開催として、京都市北区・上京区在宅・医療介護連携支援センター共催にて、市民公開講座「住み慣れた地域で暮らし続けるために」を開催しました。市民の方からの質疑も活発にあり、自身・家族が医療や介護が必要になった時の意思決定のプロセスや治療継続の有無の判断ができかねるなど、ACP に関する声をお聴きすることができ、市民目線での医療や介護での課題を明確にすることができました。

最後になりましたが、大会開催にご協力・ご参加いただいた、すべての方々に心からお礼を申し上げます。

【報告】2019 関西家庭医療新年フォーラム

「街場の家庭医療座談会

～われわれの進む道はぶっちゃけ これからどうなるんでしょ！？リターンズ～」 2019.2.17

竹中裕昭（竹中医院/大阪市）



毎年、「深めよう絆、育てようプライマリ・ケア」をテーマに、関西のプライマリ・ケア、家庭医療、総合医関係のみなさまに御参加いただく関西プライマリ・ケア関連合同新年セミナーを今年から関西家庭医療新年フォーラムとしてリニューアルし、大阪家庭医療研究会、関西家庭医療研究会の共催で行いました。

今年は水野 融先生（岡田医院 / 京都市）が5月の日本プライマリ・ケア連合学会に展示される予定の品々を特別に公開して下さるサプライズからの幕開けとなりました！

今年は参加者として、そうそうたるベテランの先生方が集結し、自己紹介から始まったはずが、いつのまにか本論に突入する展開となりました。

医師は生涯現役も続けられるが実質何歳まで続けられるかという話、診療所継承に伴う困難さや親子継承の話、総合診療科や家庭医療センターでトップがおかしな方針を打ち出した時の対応や世代間ギャップの話、都会特有のさまざまな困難事例の話、診療看護師（ナースプラクティショナー）の話などで、今年は時間を目いっぱい確保していたのですが、それでも時間が不足し、会場閉館の

ための時間切れまで話は尽きず、新年互礼会では更にプライベートな話まで加わり、大いに盛り上がりました。新年フォーラムにふさわしく、結構、無礼講で本音が飛び出す会で、女性医師の先生方も多く御参加くださったので、若手医師や学生さんの参加がなかったのはもったいなかったという感想が出ていました。

【報告】 第 5 回大阪府支部年次フォーラム（総会）2019.2.3

長 哲太郎（ファミリークリニックなごみ/大阪市淀川区）



2月3日の節分の日に、第5回大阪府支部年次フォーラムが大阪医科大学にて開催されました。

プレ企画は、「ポートフォリオも怖くない～行動変容をテーマに」で、おなじみになった薬剤師の方向けのポートフォリオ学習会でした。寸劇やロールプレイをはじめとして、提出してもらった禁煙指導のポートフォリオを検討し学び豊かな時間になりました。その後フォーラムへと移りまして、近畿地方会一般口演からのアンコール企画「一般演題プレイバック発表」では、「都市部における『在宅看取り』についての検討」花房徹郎先生（ファミリークリニックあい）、「家庭医療学生勉強会 PISCO の活動が学生に与える影響の検討」安原千晴さん（大阪医科大 医学生）で、興味深いプライマリ・ケア領域における記述的研究、プライマリ・ケアそのものに卒前から触れていくという非常に刺激的な取り組みが発表されました。また恒例企画「症例提示とレクチャー」鈴木富雄先生（大阪医大）では、「女性のむくみ」をテーマに、参加者に適度な緊張感を与えつつ非常に示唆に富んだ一例を教授していただきました。メイン企画「人生会議！？いつどこで…～ACP を考える～」では、5人のパネリストを招いて、施設、病院、診療所などそれぞれの立場から、その人の生き方を捉え、どう最期を支えるかの取り組みを紹介してもらいました。レクチャーに触発されて、参加者も自身の背景を語りながら、活発な議論が展開されました。「誰でもできそうなことは、誰かに任せたい」というパネルもあり、我が事としてACPに取り組んでいきたいという気持ちを新たに、参加者全員で写真を撮影して会を終えました。

その後、大学構内の食堂で行われた懇親会では、終始和やかな雰囲気でした。



【報告】 第 11 回近畿家庭医療・総合診療専攻医ポートフォリオ発表会のご報告 2019.2.17

第 11 回近畿家庭医療専攻医ポートフォリオ発表会 実行委員長
井本博之（音羽病院・大津ファミリークリニック）

さる2月24日、大阪医科大学において第11回近畿家庭医療・総合診療専攻医ポートフォリオ発表会を開催致しましたのでご報告致します。

本年度は昨年を大幅に上回る38名の専攻医よりエントリーがあり、昨年より1部屋多い4部屋での運営となりました。鈴木富雄教授を始め、大阪医科大学のスタッフの皆様、評価者の先生方のご尽力により無事盛況

のうちに会を終えることができました。

評価者の先生方には事前に詳細事例報告をご評価頂き、当日はその詳細事例報告を元としたプレゼンテーションをご評価頂きました。専攻医が悩み苦しんだ症例を様々な角度からご評価頂くことで、ポートフォリオとして学ぶ楽しみとする大変良い機会になりました。同じ近畿で働く仲間と切磋琢磨し議論することで交流を深めることもできました。特別講演では臨床研究をテーマに京都大学医療疫学分野青木拓也先生にご講演頂きました。日本のプライマリケア領域における臨床研究の危機的現状を知り、私事ながら講演中に着想した research question を必ず論文にすると決意した次第であります。

年々、家庭医療・総合診療を取り巻く環境が変化していき、活躍の場が多様化していく中、プログラムの垣根を越えた繋がりが今後さらに重要となってくると考えております。この発表会が近畿の家庭医療を盛り上げる一助となることを心より祈念しております。今後ともご支援のほどどうぞよろしくお願い致します。



【案内】 近畿ブロック支部主催

家庭医療専攻医 および 総合診療専門医コース向け

春の合宿 & オリエンテーション、ポートフォリオ道場2019のお知らせ



対象・募集人数

近畿のプログラムに所属する専攻医、指導医
若手指導医も大歓迎

80名

内容

- 1日目：1年目専攻医向けオリエンテーション
並行して2年目以上にはポートフォリオ作成レクチャー
- 指導医向けレクチャーなど
- 2日目：グループ別にポートフォリオ作成添削指導
研究などのポートフォリオ個別相談

日時・場所

日時：2019年6月15日(土) 14:00 ～ 6月16日(日)12:00

場所：白浜荘（滋賀県高島市）

*今回から、施設内での託児サービスを行います。

費用

専攻医 1 年目 13000 円

それ以外 15000 円

募集日程

2019 年 4 月中旬以降、Web にて申し込み開始（先着順）

連絡先

近畿ブロック支部 専門研修支援部会 一瀬直日 issenaohi@yahoo.co.jp



【報告】2018 年度奈良県支部総会 第 3 回奈良地方会 2018.11.4

吉本清巳（奈良県立医科大学総合医療学教室）

2018 年度奈良県支部総会、第 3 回奈良地方会を、大和三山が一望できる、新しい橿原市役所分庁舎にて、2018 年 11 月 4 日に開催しました。

総会は、出席 40 名、委任状 50 通あり、対象会員 172 名の過半数以上で成立しました。今年度は学会理事の任期更新に伴い、当支部の支部長の改選を行い、武田以知郎先生が賛成多数で再任されました。



奈良地方会は非会員の方も参加いただき 62 名の出席がありました。今年の奈良地方会は ACP (Advance Care Planning) を主題とし、一般演題でそれぞれ意思決定に難渋した症例 3 題の発表の後、北海道函館陵北病院の川口篤也先生に「地域で紡ぐ ACP」という題名で特別講演をして頂きました。



現場で意思決定に関して困難に直面している会員も多く、ACP の理解が進み、実践的な内容も含めてご講演いただき、非常にわかりやすく、とても勉強になりました。一緒にその人らしく最期を迎えるための話し合いのプロセスが大切で、価値観を共有すること、共有するシステムが大事であり、われわれ自身も死ぬまでどう生きたいか？考え話し合うことが重要と教えて頂きました。川口先生、遠いところ、誠にありがとうございました。

[支部からのご連絡]

ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→詳細は、上記ホームページをご参照願います。

